

川本町立川本中学校「心に残る文化財子ども塾」 ふるさと川本町の文化財めぐり ～石見銀山への道～

1. 活動の概要

6月20日(金)、川本町立川本中学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

まず、島根県教育庁文化財課世界遺産室の職員から、川本町の歴史について、川本町を拠点とした小笠原氏と石見銀山とのかかわりを中心に説明をうけました。

次に、マイクロバスに乗り、川本町の遺跡を巡りました。まず、南北朝時代に建立された木谷の九重石塔を見学し、その隣にある井戸平左衛門の碑とあわせて解説を聞きました。

そして、小笠原氏の居城である三原丸山城へ登りました。山上から周囲の景色を眺めたり、石垣などの遺構を見学したりしながら、城がどのような役割をはたしたのか学びました。また、丸山城の出土品を見てふれて、当時の人々の暮らしについて思いをはせました。

2. 子ども塾を終えて

1)生徒の皆さんから…

- ・丸山城へ登るのが大変だったが、上からみた風景がきれいだった。
- ・現地で説明を聞いたり、出土品を触ったりできてよかった。
- ・丸山城にどれくらいの人がすんでいたのか、小笠原氏がどのような戦いをしていたのか知りたい。

2)担任の先生から…

- ・現地に行き、実物に触れながら話を聞いたことはとても良い体験になったと思います。
- ・川本町と石見銀山とのつながりがよくわかり、生徒たちも興味をもって参加できました。

3)世界遺産室から

今回は石見銀山とのかかわりということで、小笠原氏を中心としたテーマで授業をしました。現地や出土品を見学しながら、当時の人々の暮らしぶりについて実感してもらえたのではないかと思います。また、これを機会に地域や石見銀山の歴史について興味を深めてもらい、石見銀山にも来てもらえるとうれしいです。



川本町の歴史について説明



木谷の九重石塔



三原丸山城



丸山城の出土品を見学